

再見

中西 陽介

【はじめに】

一年間の埼玉県親善大使としての山西大学留学プログラムを終え、無事に日本に帰国いたしました。

帰国の日が近づくにつれ、とても離れがたく寂しい気持ちに襲われました。そのくらい山西を好きになっていたのです。素晴らしい出会いがあり、貴重な体験をすることができました。あらためて埼玉県、山西省の関係者の皆さまに感謝いたします。

この留学を通じて体験し感じたこと、また今後留学する方の参考になるようなことを綴っていきたいと思います。



山西大学

【中国との関わり】

私がなぜ中国に興味を持っているのかと言いますと、初めて行った外国が中国、というのが第一にあります。当時は改革開放路線が始まって数年経った頃で、まだ以前の計画経済時代の空気が色濃く残っていました。人々が着ている衣服は青や緑の同じ規格のものが多く、道路は自転車の大洪水。街には鮮やかな色がなく、くすんだ色のイメージでした。政府公認の日本円が使える土産店に連れて行かれましたが、コンダクターから財布の中を販売員に見せないように、一万円札をなるべく使わないようにと言われました。つまり、現地の方の月給に匹敵するような額のお金を子供がポンと出すのは、従業員の感情的によくないとのことでした。また、路上での買い物は、お釣りに偽札を渡してることが多いので、なるべく控えるようにと注意されました。これらの事は小学生の私にとって非常にカルチャーショックでした。

時が経ち大学生になった私は、第二外国語として中国語を選択しました。し

かし、教科書を日本語に訳すだけの授業はとても退屈で、内容も専門的なことばかりで、すぐに挫折してしまいました。

大学卒業後、舞台俳優の仕事をはじめた私ですが、ある舞台で中国の俳優たちと共演することになりました。そのとき彼らの俳優としてのスキルの高さに驚きました。中国映画も素晴らしい作品がたくさんあります。中国に対する興味がまた湧き始め、それからというもの数年に一度、中国へ旅行に行きました。訪れる度に、中国がものすごいスピードで、どんどん発展していくのを目の当たりにし、その驚きと興味が、私を今回の留学に駆り立てました。



改革開放 40 周年



講堂にて式典の映像を見る

【留学前の準備】

- 正直なところ、大多数の日本人にとって中国に対するイメージは、あまり良いものではないでしょう。そのため中国で長期滞在することに不安を感じる人もいるかもしれません。私自身も留学前に日本在住の中国人から、中国人の70%は日本人のことが嫌いだから気を付けて、と忠告されました。しかし実際に生活してみて、先生方はとても優しく、中国人の学生たちもフレンドリーで、街を歩いても危険を感じることは全くありませんでした。
- 学習面
中国語学習の経験のない方は、ある程度の単語と基礎文法を留学前に勉強しておいたほうが、現地で効率よく勉強できると思います。HSK4級レベルをやっておけば大丈夫だと思います。英語力もあれば、他国の留学生とコミュニケーションがとりやすいです。
- 持ち物
基本的に現地で買えますし、ネットショッピングもできるようになれば

何でも手に入ります。安いものもたくさんありますが、質は劣ります。高品質なもの、輸入品などは日本より値段が高いように感じました。おそらく為替レートの問題だと思います。

個人的に日本から持って行って良かったと思ったのは、以下のものです。

1. 食べ物…味噌汁、日本のカップラーメン等は重宝すると思います。北京や上海などの大都市には日本食レストランも多くありますが、太原にはほぼありません。日本の味が恋しくなります。
2. マスク…現地のものは通気性が悪い。輸入品は値段が高い。
3. ノート…現地の物は紙が薄い。
4. 速乾Tシャツ…手洗いでもすぐ乾く。
5. 布用消臭スプレー…ファブリーズ、リセッシュなど。
6. 中国語単語集

【太原について】

● 太原の気候

山に囲まれた地域で気温の差が激しいのが特徴です。非常に乾燥しているので、洗濯物はよく乾きます。乾燥で肌がかゆくなったこともありました。

雨はほとんど降らず、風もあまり吹かないので、冬場でも実際の気温ほど体感では寒くありませんでした。もちろん寒いことは寒いです。特に朝はマイナス15℃以下になることもよくあります。

季節の変わり目には、強風や突然の大雨などもありました。

夏は暑いです。太原は中国の北方に位置するためクーラーのない部屋が多く、扇風機を自分で買っている学生もいました。

空気は基本的に悪く、特に冬場は霧(もや)がかっている日が多いです。太原は特に砂っぽく感じました。砂でコーティングされたようになっていて自動車をよく見かけます。空気の良い日は遠くの山々が見え、そのような日を選んで学校のグラウンドでジョギングをしました。



ある冬の日の気温

● 太原の交通

1. バス

太原市内であれば、1~2元 (バスカード利用であれば半額)、太原

～晋中間のバスは3～4元です。太原バスと晋中バスの二種類があり、後者はスマホでWechat払いができます。

2. タクシー

太原市内にはタクシー(青/白)があります。料金は日本のタクシーと比べてさほど高くありませんが、現地の生活水準に慣れてくると高く感じます。私の寮は郊外の商務学院にあり太原市の外に出るため、市内からタクシーを利用する場合、たいてい追加料金を要求してきます。

多くの学生は、「滴滴出行」というスマホアプリを使っています。自家用車をタクシーのように利用するもので、世界的に有名な「Uber」のような利用方法です。信用度は高いですが、追加料金を要求したり、遠回りをしたりするドライバーも実際にはいます。トラブルがあればカスタマーセンターに問い合わせることもできるので、比較的安心して使えます。

白タクも多いです。駅前や校門の前でたむろしていて、通りがけると「打車～(ダーチャー)」と声をかけてきます。料金も高めですし、トラブルもよく聞くので、なるべく利用しないほうがいいと思います。

3. 電車

太原駅と太原南駅が主な駅です。旅行などに行く以外は基本利用しないと思います。高速鉄道は南駅から出発します。

● 市内の様子

市内中心部にはたくさんのお店や食堂があり、マクドナルドやケンタッキーフライドチキン、スターバックスなどもあります。大きなショッピングモールの中には、ユニクロや無印良品なども入っています。



ショッピングモール



日本のお店も

【病気や怪我】

慣れない土地や気候のせいで、病気になってしまうこともあります。私は三回ほど風邪をひきました。一度風邪をひくとなかなか治りません。他の留学生もそのようなことを言っていました。中国の病院は手続きが少し面倒で、そもそも中国人は風邪ぐらいでは病院に行かないそうです。中国人に風邪を引いたという、決まって「お湯を飲め！」と言われます。

大都市であれば、海外保険のキャッシュレスサービスなどで簡単に診察を受けられますが、太原の病院はまだ対応していないようです。私は校内にある小さな診療所で薬をもらったのですが、結局なかなか治りませんでした。

また、怪我にも気を付けなければなりません。路面が凸凹だったり、ツルツルで滑りやすかったりするので、転倒に注意しましょう。交通事故にも気を付けてください。ドライバーの運転マナーは非常に悪いです。歩行者よりも自動車優先という意識なのでとても危険です。特に交差点で右折してくる車には注意が必要です。

【学校生活】

● 授業

埼玉県プログラムでは、語学コース、大学(本科)、大学院(研究生)の応募ができますが、ほとんどの方は語学コースを選ばれると思うので語学コースの内容を説明したいと思います。

基本的に初級、中級、高級班があります。初級には英語も交えながら行われるクラス(A)と、全て中国語のクラス(B)があります。

最初にクラス分けテストが行われ、各々振り分けられます。

私の場合、前期は初級B、後期は中級班で授業を受けました。

中国語のクラスは月曜日から金曜日の午前中に毎日2コマあります。内容は、読解(読解)、精読(読解)、リスニング、会話です。中級班には作文のクラスもありましたが、実際にはその時間も精読の授業をやっていました。

授業は、基本的に先生の講義を聞くという形態なので、積極的に参加しないと中国語を話す機会があまりありません。会話の授業でも生徒の人数が多いため、なかなか喋る順番が回ってこないのが実情です。

2018 第一学期塙城校区课程表

语音生

科目	班級	時間	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五
必修科目	塙城校区 中級班	8:30-10:10	精読	精読	精読	听力	写作
		10:30-12:10	阅读	听力	会话	阅读	会话
	塙城校区 高級班	8:30-10:10	阅读	综合	听说		
		10:30-12:10	综合		综合	写作	

中級・高級班カリキュラム

午後には芸術や HSK(中国語のテスト)対策の選択授業があります。実際これらの授業に出ている学生は僅かなのですが、私は前期に二胡と HSK4 級、後期には中国画と HSK5 級の授業に参加しました。少人数なので先生と話す時間もあり、会話の練習にもなりました。



中国画の授業

- 寮
従来、山西大学内の国際教育交流学院という建物が、留学生寮かつ教室だったのですが、留学生急増のため、一昨年から郊外にある山西大学商務学院も使用され始めました。一人部屋としての利用は現状不可能です。

国際教育交流学院(山西大学)…二人部屋。本科生、大学院生優先。トイレ、シャワー(共同)。キッチンルーム、洗濯機あり。

行知寮(山西大学商務学院)…三人、六人部屋。トイレ(共同)、シャワー(三人部屋室内、六人部屋共同)、洗濯機あり。

学术交流中心(山西大学商務学院)…三人部屋。ホテル施設を改装した部屋。シャワー、トイレ(室内)。洗濯機なし。



国際教育交流学院



行知寮

- 食事
学校内に食堂があり、手ごろな価格で食べられます。ほとんど 10 元前後なので、飲み物と合わせても 20 円で十分です。
ただ、脂っこいものが多いので、だんだん胃が疲れてきます。そんな時は、果物も安いのでおすすめです。
- 活動
運動会、スポーツ大会、弁論大会、イベント参加など、様々な学校の行事があります。積極的に参加すると他国の留学生や中国人学生と仲良くなれます。
また大学の社団活動(サークル)に加入するのも楽しいと思います。私は、演劇部とダンス部に参加しました。中国人の学生たちと交流できます。



平遥国際撮影大展に参加



武術を教わる留学生

【埼玉県について】

様々な場所で埼玉県について説明しましたが、残念ながらあまり知られていないようです。しかしそれは仕方のないことかもしれません。東京、大阪、北海道でさえ、名前は知っているが、実際にどこにあるのか、何があるのかは知らない人が多いのです。しかし驚いたのは、アニメで扱われた舞台として埼玉を知っている人が数名いたことです。中国では日本のアニメは絶大な人気があります。もしアニメや漫画に興味があれば、すぐ中国人学生と友達になれると思います。

【観光】

太原は、北京と西安の間に位置し、どちらも高速鉄道を使って三時間前後で行くことができます。私は、あえて高速鉄道ではなく在来線で北京まで行きました。中国の在来線列車には寝台車両が連結されているので、夜行列車を利用しました。日本でもかつてブルートレインなど夜行寝台列車がたくさんありましたが、今はほとんどなくなってしまいました。時間はかかりますが、旅情を味わえますし、中国人の生活を生々しく直に感じる事が出来ます。

山西省内では、明清時代の街がそのまま残っている平遥古城、雲崗石窟がある大同などを訪れました。どちらも世界文化遺産に指定されており、一見の価値あります。

太原には山西省の京劇院があり、私も何度かお邪魔させていただきました。団長の方とも知り合うことができ、京劇の稽古も見学させていただきました。毎週金曜日の夜に公演があるので、是非観劇してみてください。休演の場合もあるので、事前確認が必要です。



太原発北京行の列車



山西省京劇院



京劇の衣装も展示

【今の中国】

私が初めて訪れた中国とは全く違います。都市には高層ビルが建ち並び、地下鉄も整備されています。高速鉄道網が発達し、道には高級自動車(特にドイツ車)がたくさん走っています。スマホ決済が当たり前で、スマホがあれば何でもできるといった様子です。大型ショッピングモールもたくさんあり、商品が豊富で、店内は清潔です。若者はオシャレに気をつかい、お化粧品をしている女性も増えてきました。

観光地はどこも商業化が激しく、人で溢れています。

しかし、ちょっと裏道に入ると懐かしい街並みが残っています。農村地帯はまだまだ設備など整っていないところも多いようです。もちろん住民たちは新しい現代的な生活を望んでいるとは思いますが、どこも均質的な感じになってしまうのは、ちょっと寂しい気がします。

太原はいい意味で田舎です。地下鉄もまだなく、旧型のバスも走っています。北京など大都市と比べれば物価も低く、安い大衆食堂もたくさんあります。不便なことも多少ありましたが、とても過ごしやすい街だと思いました。

しかし現在、至るところで古い地区を取り壊し再開発しています。地下鉄も建設中なので、ここ数年で街の雰囲気も大きく変わるのではないのでしょうか。

【まとめ】

この留学はとても充実したものでした。集中して中国語の勉強ができたことはもちろんですが、何よりたくさんの人に出会えたことが大きな収穫です。中国人の学生は皆とても親切で優しいです。シャイなところもありますが、好奇心旺盛です。他国の留学生もユニークな人が多いです。特にタイ人留学生はとても面倒見がよく、日本人全員たいへんお世話になりました。

中国人はとても直接的です。日本人としては面食らうことも多々ありますが、ある種日本人に欠けている部分を持っているような気がします。

今回の留学経験を活かし、今後も国際交流に貢献し、相互理解を深めていけたらと思います。ありがとうございました。